

特別企画： 2016 年度第 2 四半期 主要上場建設会社 59 社の受注・業績動向調査

受注高 9.1%増、2 年ぶりにプラスへ ～公共工事、再び増加に転じる～

はじめに

上場建設会社の 2016 年度第 2 四半期（中間）決算が出揃った。

年に 2 回、6 月と 12 月に行っている上場ゼネコンの“定点観測”だが、業界のトレンドは目まぐるしく変わっている。国内建設投資が 92 年度のピーク比半減となった 2010 年度が近年の受注高のボトム。その後、東日本大震災の復興需要、安倍政権下の補正予算、国土強靱化計画に基づくインフラ工事で活況を呈し、2014 年度に受注高のピークをつけた。

しかし、2015 年度通期の受注高は前年度比 4.5%減と 5 年ぶりに減少し、特に公共工事のピークアウト感が鮮明となっていた。2016 年度、このトレンドはどう変化しているだろうか。

帝国データバンクは、全国の主要上場建設会社の 2016 年度第 2 四半期の決算短信から、単体ベースの受注高とその官民比率、および連結ベースの売上高、売上総利益率について調査・分析した。調査対象は、主要な上場建設会社 59 社で、受注高については前年度との比較が可能な 44 社。

※ （株）竹中工務店（未上場）は含めていない。

※ 前回調査は 2016 年 6 月 27 日、前々回調査は 2015 年 12 月 24 日。

調査結果要旨

1. 主要上場建設会社 59 社のうち、単体の受注高の判明している 44 社の 2016 年度第 2 四半期の受注高合計は、前年同期比 9.1%増の 5 兆 2275 億 8500 万円となった。受注高は 2 年ぶりに増加に転じた
2. 工事受注高の内訳（官・民）が判明している 36 社をみると、官公庁工事の受注高は、前年同期比 35.5%増の 1 兆 5162 億 4900 万円。民間工事の受注高は、前年同期比 4.5%増の 3 兆 566 億 4800 万円。官公庁工事が 2 年ぶりの大幅なプラスとなった一方で、民間工事の伸び率は縮小傾向にある（2015 年度第 2 四半期は 13.9%増、通期では 6.2%増）
3. 主要上場建設会社 59 社の売上高合計（連結ベース）は、前年同期比 2.5%減の 6 兆 6888 億 600 万円。
4. 上場建設会社 59 社の売上高総利益率（連結ベース）の平均をみると、2016 年度第 2 四半期は 12.6%と前年同期比 1.2 ポイント上昇した。上場ゼネコンの収益力改善が続いている。

1. 受注高動向 ～9.1%増、2 年ぶりに増加に転じる

主要上場建設会社 59 社のうち、単体の受注高の判明している 44 社の 2016 年度第 2 四半期の受注高合計は、前年同期比 9.1%増の 5 兆 2275 億 8500 万円となった。上場ゼネコンの第 2 四半期の受注高は、2 年ぶりに増加に転じている。

受注高合計

単位：百万円

2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	前年同期比 増減率	増加 企業数	減少 企業数
4,793,498	5,227,585	9.1%	29	15

※個別受注高の判明した44社が対象

増加企業数は 29 社に達し、減少企業数は 15 社にとどまった。

2011 年以降、東日本大震災後の復興需要、アベノミクスによる公共工事の増加、さらには都内の大規模商業施設など民間工事増加の恩恵により、建設投資は急回復。2011 年度から 2014 年度にかけて、上場ゼネコンの業績は一気に好転した。しかし、2015 年度通期の受注高は、前年度比 4.5%減と 5 年ぶりに減少（前回調査）。過去の受注高の伸び率の推移をみると、すでに 2013 年度上期をピークに減速感が出ていたものの、ついにマイナスに転じたことから先行きが懸念されていた経緯がある。蓋を開けてみれば、建設業界の動向を知る上でもっとも重要な指標である受注高は再びプラスに転じる結果となった。

受注高の増加率では「金下建設」が前年同期比 198.3%増でトップ。次いで「鈴縫工業」が同 109.0%増。両社は官公庁、民間工事ともに受注が好調だった。減少率では「森組」の同 45.7%減がもっとも大きく、次いで「東急建設」の同 37.7%減となった。

受注高増減率(単体) 上位10社

単位：百万円

	社名	決算月	所在地	2015年度 第2四半期 受注高	2016年度 第2四半期 受注高	前年同期比 増減率	<内訳>						
							官公庁	増減率	民間	増減率	海外	増減率	その他
1	金下建設	12	京都	2,746	8,190	198.3%	5,450	217.7%	2,741	165.9%	-	-	-
2	鈴縫工業	3	茨城	5,483	11,462	109.0%	6,810	112.0%	4,652	104.8%	-	-	-
3	五洋建設	3	東京	166,504	267,480	60.6%	72,142	19.6%	136,131	69.9%	57,493	126.2%	1,713
4	飛鳥建設	3	神奈川	56,794	87,259	53.6%	45,480	88.4%	31,838	10.6%	9,438	177.4%	502
5	大豊建設	3	東京	45,324	68,548	51.2%	33,005	44.2%	26,737	18.0%	8,805	-	-
6	鉄建建設	3	東京	54,885	78,251	42.6%	21,840	79.9%	58,844	38.8%	▲ 2,433	▲ 801.2%	-
7	鹿島建設	3	東京	596,936	826,862	38.5%	243,543	102.6%	585,531	30.1%	▲ 26,869	-	24,657
8	浅沼組	3	大阪	72,127	95,684	32.7%	34,326	36.7%	61,357	30.5%	-	-	-
9	佐田建設	3	群馬	12,537	16,557	32.1%	11,244	88.3%	5,312	▲ 19.1%	-	-	-
10	大末建設	3	大阪	29,196	37,536	28.6%	1,105	▲ 68.1%	36,430	41.6%	-	-	-

受注高増減率(単体) 下位10社

単位：百万円

	社名	決算月	所在地	2015年度 第2四半期 受注高	2016年度 第2四半期 受注高	前年同期比 増減率	<内訳>						
							官公庁	増減率	民間	増減率	海外	増減率	その他
1	森組	3	大阪	18,477	10,040	▲ 45.7%	3,937	▲ 63.0%	6,103	▲ 22.2%	-	-	-
2	東急建設	3	東京	132,691	82,670	▲ 37.7%	14,697	▲ 50.0%	68,718	▲ 34.0%	▲ 745	-	-
3	東亜建設工業	3	東京	94,243	59,147	▲ 37.2%	32,869	▲ 38.5%	26,874	▲ 17.2%	▲ 1,599	▲ 123.4%	1,003
4	東洋建設	3	東京	91,915	65,561	▲ 28.7%	34,683	▲ 25.6%	30,662	▲ 9.2%	66	▲ 99.4%	148
5	大本組	3	岡山	35,003	25,736	▲ 26.5%	11,641	41.1%	14,095	▲ 47.3%	-	-	-
6	徳倉建設	3	愛知	18,053	13,800	▲ 23.5%	4,869	▲ 25.0%	8,931	▲ 22.7%	-	-	-
7	日本道路	3	東京	64,717	53,499	▲ 17.3%	-	-	-	-	-	-	-
8	青木あすなろ建設	3	東京	60,682	50,494	▲ 16.8%	19,932	▲ 34.0%	30,562	0.2%	-	-	926
9	佐藤渡辺	3	東京	16,793	14,032	▲ 16.4%	-	-	-	-	-	-	2,018
10	三井住友建設	3	東京	162,771	142,737	▲ 12.3%	41,554	49.1%	100,459	▲ 17.6%	722	▲ 94.4%	-

2. 受注動向<官・民内訳> ～官公庁は2年ぶり増加へ、民間は伸び幅縮小

工事受注高の内訳（官・民）が判明している 36 社でみると、官公庁工事の受注高は、前年同期比 35.5%増の 1 兆 5162 億 4900 万円となった。公共投資が 2 年ぶりに大幅なプラスへ転じ、上場ゼネコンの受注回復のけん引役となっている。

増加企業数は 21 社、減少企業数は 15 社だった。

【官公庁】受注高合計

単位：百万円

2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	前年同期比 増減率	増加 企業数	減少 企業数
1,118,845	1,516,249	35.5%	21	15

※官・民内訳の判明した36社が対象

過去の官公庁工事の推移をみると、2014 年度第 2 四半期に前年同期比 52.4%増と非常に高い伸びを示し、その後は徐々に減速、2015 年度通期では前年度比 18.3%減とマイナスに転じていた。

2016 年度は、今年度予算の前倒し執行で公共投資は期初より

活況を呈し、熊本地震や台風被害、直近では福岡の道路陥没事故の復旧工事（11 月発生）などもあり、国土強靱化のインフラ投資が加速している。

官公庁受注高の伸び率は、「イチケン」が前年同期比 539.7%増でトップ。次いで土木に強みを持つ準大手ゼネコンの「西松建設」の同 282.6%増、「金下建設」の同 217.7%増となっている。

【官公庁】受注高増減率(単体)上位10社

単位：百万円

	社名	決算月	所在地	2015年度 第2四半期 受注高	2016年度 第2四半期 受注高	前年同期比 増減率
1	イチケン	3	東京	390	2,495	539.7%
2	西松建設	3	東京	14,927	57,112	282.6%
3	金下建設	12	京都	1,715	5,450	217.7%
4	大成建設	3	東京	120,427	331,382	175.2%
5	前田建設工業	3	東京	41,682	94,639	127.1%
6	鈴縫工業	3	茨城	3,211	6,810	112.0%
7	鹿島建設	3	東京	120,224	243,543	102.6%
8	飛島建設	3	神奈川	24,142	45,480	88.4%
9	佐田建設	3	群馬	5,972	11,244	88.3%
10	鉄建建設	3	東京	12,138	21,840	79.9%

民間工事の受注高は、前年同期比 4.5%増の 3 兆 566 億 4800 万円。増加企業数 21 社に対し、減少企業数は 15 社だった。

民間受注高の伸び率は、2015 年度第 2

四半期（前年同期比 13.9%増）をピークとして伸び率は若干、鈍化している。しかし、五輪関連や都心の大規模再開発などが 2017 年度以降、本格的に業績に貢献してくるとみられる。

【民間】受注高合計

単位：百万円

2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	前年同期比 増減率	増加 企業数	減少 企業数
2,926,163	3,056,648	4.5%	21	15

※官・民内訳の判明した36社が対象

もともと、上場ゼネコンは大手になるほど受注に占める民間工事の割合が高い。

民間受注高の伸び率トップは「金下建設」の前年同期比165.9%増。次いで「鈴縫工業」の同104.8%。両社は受注高ランキングの1位と2位でもあった。

【民間】受注高増減率(単体)上位10社

単位: 百万円

	社名	決算月	所在地	2015年度 第2四半期 受注高	2016年度 第2四半期 受注高	前年同期比 増減率
1	金下建設	12	京都	1,031	2,741	165.9%
2	鈴縫工業	3	茨城	2,271	4,652	104.8%
3	五洋建設	3	東京	80,136	136,131	69.9%
4	大末建設	3	大阪	25,733	36,430	41.6%
5	鉄建建設	3	東京	42,400	58,844	38.8%
6	戸田建設	3	東京	105,015	145,603	38.7%
7	福田組	12	新潟	45,264	59,894	32.3%
8	浅沼組	3	大阪	47,016	61,357	30.5%
9	鹿島建設	3	東京	449,961	585,531	30.1%
10	安藤・間(旧・間組)	3	東京	89,534	116,084	29.7%

3. 売上高動向 ～売上高は2.5%減、今後は再び増収傾向か

主要上場建設会社59社の売上高合計(連結ベース)は、前年同期比2.5%減の6兆6888億600万円。

増収企業数は23社にとどまり、減収企業数は36社に達した。

2015年度通期の受注高が前年度比4.5%減とマイナスであったことから当然の結果といえるが、現在の受注動向からみて今後、再び増収傾向を強めてくるかもしれない。

売上高合計

単位: 百万円

2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	前年同期比 増減率	増収 企業数	減収 企業数
6,858,356	6,688,806	▲2.5%	23	36

売上高の増加率トップは、「守谷商会」の前年同期比23.7%増、続いて「巴コーポレーション」の同16.5%増、「福田組」の同15.7%増となっている。

売上高増減率(連結)上位10社

単位: 百万円

	社名	決算月	所在地	2015年度 第2四半期 売上高	2016年度 第2四半期 売上高	前年同期比 増減率
1	守谷商会	3	長野	13,612	16,841	23.7%
2	巴コーポレーション	3	東京	11,647	13,572	16.5%
3	福田組	12	新潟	70,224	81,262	15.7%
4	松井建設	3	東京	37,615	43,272	15.0%
5	南海辰村建設	3	大阪	17,887	20,509	14.7%
6	ライト工業	3	東京	41,172	47,062	14.3%
7	新日本建設	3	千葉	31,609	36,008	13.9%
8	不動テトラ	3	東京	28,373	31,780	12.0%
9	安藤・間(旧・間組)	3	東京	172,681	188,045	8.9%
10	若築建設	3	東京	32,416	35,263	8.8%

売上高の減少率がもっとも大きかったのは、羽田空港の地盤改良工事などでデータ改ざんが発覚した「東亜建設工業」の同 21.1%減。次いで、「鈴縫工業」の同 19.3%減、「銭高組」の同 19.2%減となっている。

売上高増減率(連結)下位10社

単位: 百万円

	社名	決算月	所在地	2015年度 第2四半期 売上高	2016年度 第2四半期 売上高	前年同期比 増減率
1	東亜建設工業	3	東京	98,811	77,946	▲ 21.1%
2	鈴縫工業	3	茨城	8,563	6,909	▲ 19.3%
3	銭高組	3	大阪	58,583	47,322	▲ 19.2%
4	三井住建道路	3	東京	14,783	12,043	▲ 18.5%
5	浅沼組	3	大阪	70,410	58,278	▲ 17.2%
6	大林道路	3	東京	53,529	45,142	▲ 15.7%
7	常磐開発	3	福島	7,562	6,523	▲ 13.7%
8	大成建設	3	東京	727,063	646,382	▲ 11.1%
9	北野建設	3	長野	33,943	30,495	▲ 10.2%
10	大豊建設	3	東京	71,110	63,940	▲ 10.1%

4. 売上総利益率動向 ~1.2 ポイント上昇し 12.6%に。収益力改善続く

上場建設会社 59 社の売上総利益率の平均をみると、2016 年度第 2 四半期は 12.6%。前年同期の 11.4%に比べて、1.2 ポイントの上昇となった。売上総利益率は 46 社で上昇し、13 社で低下した。

売上総利益率【平均】

2015年度 第2四半期	2016年度 第2四半期	前年同期比 増減(pt)	上昇 企業数	低下 企業数
11.4%	12.6%	1.2	46	13

上場ゼネコンの売上総利益率が 10%台に乗り、バブル期以来の復活を強く印象づけたのが 2014 年度。上場ゼネコンの 8 割近くで、なお収益力の改善が続いている。官公庁工事、民間工事ともに受注単価は引き上げられ、一方では利益圧迫要因となっていた人手不足や資材価格高騰の問題もやや落ち着き、非常に良好な業界環境となっているようだ。

売上総利益率の増加率トップは「東急建設」。前年度比 6.1 ポイントの大幅上昇となった。次いで、2016 年度第 2 四半期で過去最高益を更新した「鹿島建設」が同 5.0 ポイントの上昇となっている。

売上高総利益率増減ポイント(連結)上位10社

単位: 百万円

	社名	決算月	所在地	2015年度 第2四半期 売上総利益率	2016年度 第2四半期 売上総利益率	前年同期比 増減(pt)
1	東急建設	3	東京	8.9%	14.9%	6.1
2	鹿島建設	3	東京	9.3%	14.3%	5.0
3	矢作建設工業	3	愛知	15.9%	20.3%	4.4
3	大本組	3	岡山	10.2%	14.6%	4.4
5	長谷エコーポレーション	3	東京	14.2%	18.1%	3.9
6	常磐開発	3	福島	14.3%	18.0%	3.7
7	三井住友建設	3	東京	8.6%	11.8%	3.1
7	浅沼組	3	大阪	7.9%	11.0%	3.1
7	奥村組	3	大阪	11.2%	14.2%	3.1
10	大成建設	3	東京	11.2%	14.3%	3.0

減少率では、「日本基礎技術」が 8.7 ポイントの大幅な悪化。以下、「テクノックス」、「森組」などが続く。

売上高総利益率増減ポイント(連結)下位10社

単位:百万円

	社名	決算月	所在地	2015年度 第2四半期 売上総利益率	2016年度 第2四半期 売上総利益率	前年同期比 増減(pt)
1	日本基礎技術	3	大阪	15.4%	6.7%	▲ 8.7
2	テクノックス	3	東京	17.1%	14.5%	▲ 2.6
3	森組	3	大阪	11.0%	9.0%	▲ 2.0
4	日特建設	3	東京	17.7%	15.8%	▲ 1.9
5	第一建設工業	3	新潟	15.9%	14.1%	▲ 1.8
6	植木組	3	新潟	13.8%	12.4%	▲ 1.4
7	東亜建設工業	3	東京	12.0%	10.7%	▲ 1.3
8	東亜道路工業	3	東京	11.4%	10.5%	▲ 0.9
9	金下建設	12	京都	13.5%	12.7%	▲ 0.8
9	東鉄工業	3	東京	15.9%	15.1%	▲ 0.8

5. 企業規模別分析 ～スーパーゼネコンの売上高総利益率、公共工事の恩恵で 13.2%に

企業規模別分析でも、トレンドに大きな変化があった。

典型的なピラミッド構造の建設業界において、大手建設会社はいずれも元請けに位置することが多いが、その中でもやはり大林組、鹿島建設、大成建設、清水建設など「スーパーゼネコン」が売上規模、収益力で突出し、業界全体のトレンドについて先行性を持っている。

前回調査までの分析結果で、連結売上高「1000 億円未満」のグループは、2013 年度から 2015 年度までの 3 年間に渡って、「スーパーゼネコン」や「1000 億円以上」を上回る売上高総利益率となっていた。

しかし、2016 年度第 2 四半期においては、「スーパーゼネコン」の売上高総利益率が前年度比 3.2 ポイント上昇し、13.2%に達した。これは、官公庁工事受注が前年度比 68.0%の大幅な増加となり、更に採算面でも人件費の伸びや資材価格の上昇が抑制された一方、公共工事の単価引き上げの恩恵などを受けたためとみられる。

会社規模(通期売上)別 2016年度第2四半期業績指標

	受注高 増減率	官公庁	民間	売上高増減率	2016年度第2四半期 売上高総利益率 (個別企業の平均)	増減(pt)
スーパーゼネコン	12.1%	68.0%	3.0%	▲ 3.1%	13.2%	3.2
1000億円以上	7.7%	18.6%	7.1%	▲ 2.4%	12.3%	1.7
1000億円未満	4.0%	11.0%	▲ 0.9%	▲ 0.02%	12.8%	0.7
全体	9.1%	35.5%	4.5%	▲ 2.5%	12.6%	1.3

※売上高増減率、売上総利益率平均の算出は、59社が対象
内訳は、スーパーゼネコン：4社、1000億円以上：27社、1000億円未満：28社

※受注高増減率の算出は、46社が対象
内訳は、スーパーゼネコン：4社、1000億円以上：24社、1000億円未満：18社

※官民受注高の増減率の算出は38社が対象
内訳は、スーパーゼネコン：4社、1000億円以上：20社、1000億円未満：14社

まとめ

今回の調査では、受注高が 2 年ぶりに回復。官公庁工事が再び大幅なプラスに転じ、民間工事
も伸び幅は縮小しているものの増加、売上高総利益率は一段と上昇して 12% 台に突入と、好決算
となった。

上場ゼネコンは早くも端境期を脱しつつあり、五輪関連や都内の大規模再開発が本格寄与して
くる 2017 年度以降の展望も明るい。株式市場には年金基金など政府系の投資資金が相場の形成、
安定化を担う“官製相場”なる言葉があるが、それとよく似た状況といえなくもない。

もちろん、需給が逼迫してくれば再び人件費や資材価格が上昇してくるリスクはある。1 年前に
は杭打ち工事のデータ偽装が大きな事件となったが、今年は築地市場の移転問題や五輪会場の見
直しが生産を賑わし、福岡市では道路陥没事故もあった。東日本大震災の復興需要は一段落しつ
つあり、不動産市場においては建設会社にも影響が大きい分譲マンション販売に陰りが見え始め
ている。

それでも、他の業種、産業と比較して、上場ゼネコンが相当に恵まれた業界環境にあることは
間違いないだろう。

【 内容に関する問い合わせ先 】

(株) 帝国データバンク 東京支社 情報部

太宰 俊郎 箕輪 陽介

TEL 03-5919-9341 FAX 03-5919-9348

e-mail toshirou.dazai@mail.tdb.co.jp

yousuke.minowa@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内で
ご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

参考 2016年度第2四半期業績

単位:百万円

	企業コード	社名	証券コード	決算月	所在地	売上高	前年同期比 増減率	売上総利益	売上総利益率	前年同期比 増減(pt)
1	580000489	大林組	1802	3	東京	858,996	2.9%	101,980	11.9%	1.7
2	985115201	鹿島建設	1812	3	東京	813,217	3.8%	116,396	14.3%	5.0
3	985302607	清水建設	1803	3	東京	712,427	▲ 8.9%	87,921	12.3%	2.9
4	985376100	大成建設	1801	3	東京	646,382	▲ 11.1%	92,182	14.3%	3.0
5	985694202	長谷工コーポレーション	1808	3	東京	344,720	▲ 2.6%	62,510	18.1%	3.9
6	985192757	五洋建設	1893	3	東京	241,194	5.4%	19,891	8.2%	1.4
7	985456201	戸田建設	1860	3	東京	204,176	▲ 6.6%	25,034	12.3%	1.9
8	985763201	前田建設工業	1824	3	東京	194,966	0.5%	21,133	10.8%	2.3
9	981459429	安藤・間(旧・間組)	1719	3	東京	188,045	8.9%	25,172	13.4%	2.1
10	985785700	三井住友建設	1821	3	東京	183,428	▲ 0.7%	21,580	11.8%	3.1
11	985677005	NIPPO	1881	3	東京	168,486	1.5%	28,332	16.8%	2.2
12	985175406	熊谷組	1861	3	東京	155,150	▲ 5.4%	18,271	11.8%	2.0
13	985604902	西松建設	1820	3	東京	150,913	▲ 5.3%	19,478	12.9%	2.9
14	987447677	東急建設	1720	3	東京	103,448	▲ 10.1%	15,465	14.9%	6.1
15	985763506	前田道路	1883	3	東京	101,615	0.4%	15,330	15.1%	0.1
16	580058166	奥村組	1833	3	大阪	94,409	1.7%	13,437	14.2%	3.1
17	340016390	福田組	1899	12	新潟	81,262	15.7%	10,037	12.4%	0.9
18	985462502	東亜建設工業	1885	3	東京	77,946	▲ 21.1%	8,307	10.7%	▲ 1.3
19	580015660	東洋建設	1890	3	東京	72,323	▲ 1.7%	7,780	10.8%	▲ 0.6
20	985446106	鉄建建設	1815	3	東京	69,947	▲ 1.6%	6,369	9.1%	2.1
21	985190805	青木あすなろ建設	1865	3	東京	65,060	2.8%	8,227	12.6%	2.5
22	985391509	大豊建設	1822	3	東京	63,940	▲ 10.1%	6,043	9.5%	0.5
23	580016621	浅沼組	1852	3	大阪	58,278	▲ 17.2%	6,406	11.0%	3.1
24	985672107	日本道路	1884	3	東京	58,198	▲ 4.3%	6,619	11.4%	0.3
25	985570902	ナカノドー建設	1827	3	東京	56,718	▲ 2.1%	5,766	10.2%	0.4
26	985554604	飛鳥建設	1805	3	神奈川	55,026	▲ 0.9%	5,835	10.6%	0.7
27	985522306	東鉄工業	1835	3	東京	48,758	1.7%	7,351	15.1%	▲ 0.8
28	580000498	銭高組	1811	3	大阪	47,322	▲ 19.2%	5,015	10.6%	2.6
29	985855500	ライト工業	1926	3	東京	47,062	14.3%	8,683	18.5%	▲ 0.4
30	985095806	大林道路	1896	3	東京	45,142	▲ 15.7%	6,266	13.9%	0.3
31	985765402	松井建設	1810	3	東京	43,272	15.0%	5,042	11.7%	1.9
32	400150715	矢作建設工業	1870	3	愛知	41,085	▲ 3.5%	8,349	20.3%	4.4
33	610005571	大本組	1793	3	岡山	39,811	▲ 9.7%	5,794	14.6%	4.4
34	985706500	ピーエス三菱	1871	3	東京	39,143	▲ 8.1%	4,325	11.0%	0.6
35	400145644	名工建設	1869	3	愛知	38,303	▲ 0.4%	3,428	8.9%	0.4
36	580000390	イチケン	1847	3	東京	36,030	2.7%	3,316	9.2%	0.7
37	260084044	新日本建設	1879	3	千葉	36,008	13.9%	7,111	19.7%	2.3
38	985865300	若築建設	1888	3	東京	35,263	8.8%	3,434	9.7%	▲ 0.4
39	985463500	東亜道路工業	1882	3	東京	33,539	▲ 6.9%	3,522	10.5%	▲ 0.9
40	580033686	不動テトラ	1813	3	東京	31,780	12.0%	4,937	15.5%	1.1
41	330021912	北野建設	1866	3	長野	30,495	▲ 10.2%	4,098	13.4%	2.8
42	580055281	大木建設	1814	3	大阪	28,236	▲ 2.5%	2,895	10.3%	0.4
43	985351601	世紀東急工業	1898	3	東京	25,093	▲ 7.0%	3,548	14.1%	2.7
44	985672902	日特建設	1929	3	東京	23,126	▲ 9.5%	3,654	15.8%	▲ 1.9
45	340010117	第一建設工業	1799	3	新潟	21,309	3.1%	3,010	14.1%	▲ 1.8
46	580082564	南海辰村建設	1850	3	大阪	20,509	14.7%	2,149	10.5%	1.8
47	400094222	徳倉建設	1892	3	愛知	19,768	0.8%	1,831	9.3%	2.1
48	330027003	守谷商会	1798	3	長野	16,841	23.7%	1,865	11.1%	2.2
49	360001474	植木組	1867	3	新潟	15,824	▲ 6.3%	1,962	12.4%	▲ 1.4
50	985866101	佐藤渡辺	1807	3	東京	14,979	▲ 6.5%	1,609	10.7%	2.6
51	580015552	森組	1853	3	大阪	13,646	▲ 10.0%	1,232	9.0%	▲ 2.0
52	985555002	巴コーポレーション	1921	3	東京	13,572	16.5%	2,398	17.7%	2.3
53	220018509	佐田建設	1826	3	群馬	12,536	▲ 9.7%	1,081	8.6%	1.3
54	985231659	三井住建道路	1776	3	東京	12,043	▲ 18.5%	1,074	8.9%	0.2
55	580027141	日本基礎技術	1914	3	大阪	10,336	▲ 8.3%	694	6.7%	▲ 8.7
56	985442081	テクノス	1905	3	東京	8,946	1.1%	1,299	14.5%	▲ 2.6
57	250306111	鈴縫工業	1846	3	茨城	6,909	▲ 19.3%	1,235	17.9%	2.7
58	985551701	常磐開発	1782	3	福島	6,523	▲ 13.7%	1,177	18.0%	3.7
59	560008621	金下建設	1897	12	京都	5,327	▲ 5.9%	674	12.7%	▲ 0.8

2016年度第2四半期受注高(単体ベース)

単位:百万円

	企業コード	社名	受注高	前年同期比 増減率	官公庁	前年同期比 増減率	民間	前年同期比 増減率	海外	前年同期比 増減率	その他	前年同期比 増減率
1	985115201	鹿島建設	826,862	38.5%	243,543	102.6%	585,531	30.1%	▲ 26,869	-	24,657	▲ 17.2%
2	985376100	大成建設	723,344	3.7%	331,382	175.2%	412,624	▲ 24.5%	▲ 28,151	▲ 224.7%	7,489	▲ 4.9%
3	580000489	大林組	573,301	▲ 4.5%	89,389	▲ 42.3%	461,706	9.7%	15,707	▲ 1.8%	6,496	▲ 25.4%
4	985192757	五洋建設	267,480	60.6%	72,142	19.6%	136,131	69.9%	57,493	126.2%	1,713	177.7%
5	985694202	長谷工コーポレーション	224,594	2.6%	-	-	-	-	-	-	7,436	17.8%
6	981459429	安藤・間(旧・間組)	208,882	12.8%	79,771	18.6%	116,084	29.7%	13,026	▲ 54.0%	-	-
7	985456201	戸田建設	207,512	20.1%	57,008	▲ 8.6%	145,603	38.7%	2,065	2144.6%	2,834	▲ 47.4%
8	985763201	前田建設工業	203,975	0.6%	94,639	127.1%	108,759	▲ 30.2%	▲ 285	▲ 114.6%	862	▲ 72.4%
9	985785700	三井住友建設	142,737	▲ 12.3%	41,554	49.1%	100,459	▲ 17.6%	722	▲ 94.4%	-	-
10	985175406	熊谷組	132,845	8.3%	26,491	▲ 25.6%	106,314	22.2%	39	-	-	-
11	985604902	西松建設	116,616	19.2%	57,112	282.6%	74,796	▲ 15.6%	▲ 15,292	-	-	-
12	580058166	奥村組	111,662	12.9%	56,330	26.5%	55,276	2.9%	55	▲ 92.0%	-	-
13	985763506	前田道路	109,814	0.2%	-	-	-	-	-	-	31,744	▲ 7.1%
14	580016621	浅沼組	95,684	32.7%	34,326	36.7%	61,357	30.5%	-	-	-	-
15	985554604	飛鳥建設	87,259	53.6%	45,480	88.4%	31,838	10.6%	9,438	177.4%	502	6.5%
16	987447677	東急建設	82,670	▲ 37.7%	14,697	▲ 50.0%	68,718	▲ 34.0%	▲ 745	-	-	-
17	985446106	鉄建建設	78,251	42.6%	21,840	79.9%	58,844	38.8%	▲ 2,433	▲ 801.2%	-	-
18	340016390	福田組	74,245	23.4%	14,010	4.1%	59,894	32.3%	-	-	340	▲ 76.6%
19	985391509	大豊建設	68,548	51.2%	33,005	44.2%	26,737	18.0%	8,805	-	-	-
20	580015660	東洋建設	65,561	▲ 28.7%	34,683	▲ 25.6%	30,662	▲ 9.2%	66	▲ 99.4%	148	▲ 29.1%
21	985095806	大林道路	61,392	10.3%	9,857	2.2%	45,488	14.9%	0	▲ 100.0%	6,046	▲ 5.9%
22	985462502	東亜建設工業	59,147	▲ 37.2%	32,869	▲ 38.5%	26,874	▲ 17.2%	▲ 1,599	▲ 123.4%	1,003	▲ 31.7%
23	580000498	銭高組	58,186	7.5%	14,881	▲ 16.9%	43,305	19.6%	-	-	-	-
24	985765402	松井建設	55,654	▲ 3.7%	7,277	▲ 8.6%	47,746	▲ 3.0%	-	-	630	2.5%
25	985672107	日本道路	53,499	▲ 17.3%	-	-	-	-	-	-	-	-
26	985190805	青木あすなろ建設	50,494	▲ 16.8%	19,932	▲ 34.0%	30,562	0.2%	-	-	926	▲ 1.3%
27	330021912	北野建設	48,680	5.6%	-	-	-	-	-	-	-	-
28	580000390	イチケン	48,265	25.0%	2,495	539.7%	45,769	19.7%	-	-	-	-
29	985865300	若築建設	45,242	25.2%	-	-	-	-	-	-	21	▲ 80.5%
30	985570902	ナカノフドー建設	43,821	16.5%	6,270	▲ 13.5%	37,551	23.7%	-	-	-	-
31	260084044	新日本建設	41,438	6.9%	-	-	-	-	-	-	18,023	▲ 14.1%
32	985351601	世紀東急工業	38,630	7.0%	12,846	50.5%	17,247	▲ 7.9%	-	-	8,536	▲ 3.4%
33	580055281	大末建設	37,536	28.6%	1,105	▲ 68.1%	36,430	41.6%	-	-	-	-
34	400145644	名工建設	26,962	▲ 11.4%	4,871	▲ 42.7%	22,090	0.7%	-	-	-	-
35	610005571	大本組	25,736	▲ 26.5%	11,641	41.1%	14,095	▲ 47.3%	-	-	-	-
36	340010117	第一建設工業	21,647	7.1%	-	-	-	-	-	-	372	17.8%
37	360001474	植木組	20,534	▲ 1.1%	8,822	22.4%	11,712	▲ 13.6%	-	-	-	-
38	220018509	佐田建設	16,557	32.1%	11,244	88.3%	5,312	▲ 19.1%	-	-	-	-
39	985231659	三井住建道路	14,799	▲ 11.8%	3,671	▲ 14.3%	8,707	▲ 14.6%	-	-	2,420	5.3%
40	985866101	佐藤渡辺	14,032	▲ 16.4%	-	-	-	-	-	-	2,018	3.1%
41	400094222	徳倉建設	13,800	▲ 23.5%	4,869	▲ 25.0%	8,931	▲ 22.7%	-	-	-	-
42	250306111	鈴縫工業	11,462	109.0%	6,810	112.0%	4,652	104.8%	-	-	-	-
43	580015552	森組	10,040	▲ 45.7%	3,937	▲ 63.0%	6,103	▲ 22.2%	-	-	-	-
44	560008621	金下建設	8,190	198.3%	5,450	217.7%	2,741	165.9%	-	-	-	-